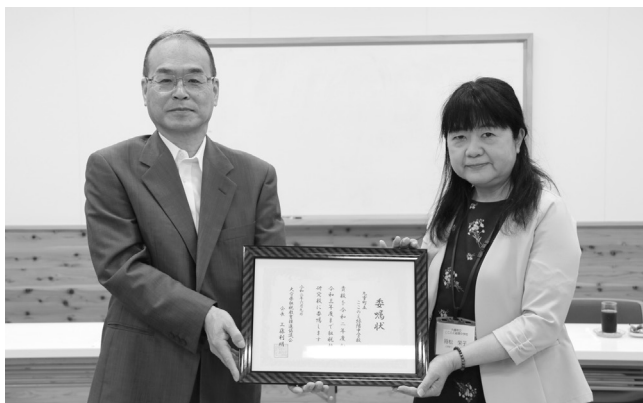


6/9 租税について学ぶ機会を



(左から) 大分税務署 署長 山崎信治さん、ここのえ緑陽中学校 時松栄子校長

ここのえ緑陽中学校が令和2年度の「租税教育指定校」になり、大分県租税教育推進協議会より委嘱状が渡されました。

委嘱期間は2年間です。今後、ここのえ緑陽中学校では生徒たちが「税の必要性」や「税の役割」等について、租税教室で学んでいきます。

6/24 花で九重町に、癒しと元気を



(左から) 日野町長、部会長 中村康さん、副部会長 加藤展秋さん、副部会長 高石勝明さん

父の日にあわせて、九重町飯田農業協同組合の花弁部会から日野町長にカスミソウとバラの花束が贈られました。中村部会長は「コロナの影響で花卉市場は厳しいが、これからも花で癒やしを届けたい」と話されました。

飯田高原で夏場に栽培されるカスミソウは西日本有数の生産を誇り、6月から11月まで出荷されます

6/12・19 学校給食で産地応援・食育



6月の「フレフレここのえ！」では、牛肉の量をいつもより多めにした献立に（写真は野上小学校3年生）

昨年までの「食育の日」を「ミヤちゃんデー」に改め、学校給食での地産地消の取組が行われています。6月のミヤちゃんデーでは、昨年の第7回こども屋台選手権でグランプリに輝いた南山田こども料理教室の“高原のミヤちゃんカレー”が献立に並びました。また、6月からは「フレフレここのえ！」の取組が始まりました。



◀ 野上小学校3年生

▶ 南山田小学校4年生



▲高原のミヤちゃんカレーを作った児童のいる南山田小学校では16日の全校集会でこども料理教室のメンバーがコンセプトや思いを伝えました（写真は南山田小学校6年生）

●フレフレここのえ！とは

新型コロナウイルスの影響で消費が落ち込んだ九重町の産品を応援する気持ちをこめて、いつもより町産品の量を多めに提供しています。

●ミヤちゃんデーとは

郷土料理や地場産物を使った献立です。食育の日とあわせて毎月19日前後をミヤちゃんデーとしています。給食内容を充実させるため、九重町産や県産品の食材を購入する費用を町が補助しています。